

隊友会裾野支部

隊友会裾野支部は、自衛隊退職者の親睦と相互扶助を図るとともに、市民と自衛隊のかけ橋として活動しています。

# 隊友裾野

## ボランティア活動に積極参加を!

ボランティア活動は義務でも誰かに強制されるものでもなく、自発性のもです。ボランティア活動団体としての隊友会会員は、これまで国防という崇高な使命のもと、国家に奉仕してきましたが、これからは一市民としてボランティア活動を通じて積極的に奉仕していきましょう。

## 隊友会裾野支部定期総会を開催

令和元年度隊友会裾野支部の総会が生涯学習センターで開催され、二十名の会員の参加を得て議案の審議が行われました。最初に昨年度に亡くなられた宇田・木村・渡辺会員など物故者に対して黙祷を捧げた後審議に入り、平成三十年度の事業報告及び決算報告が審議され、続いて平成三十一年度(令和元年度)の事業計画及び予算案が示され全会一致で了承されました。今回、会則の改正提案はありませんでした。役員改選については、土屋相談役が交代され新たに静岡県議会議員の鳥澤由克氏に相談役に就任していただきました。鳥澤議員は県議会でも防衛議員連盟に所属されるなど防衛に高い関心を示されています。また、長年事務局次長兼富岡地区役員藤本会員から村山会員へと引き継がれました。今年度の支部研修会は、航空自衛隊静浜基地及び焼津市の防災センターを見学する計画が示されました。総会の後は会場を「かつ茶寮」に移して懇親会を開きました。

### 総会における審議決定事項

- 第一号議案(平成三十年度事業・決算・監査報告) 例年通りの事業を実施したほか、研修会を国会議事堂、迎賓館、千鳥ヶ淵戦没者御苑で実施した。また、若獅子神社の清掃奉仕活動を東部の各支部会員とともに実施しました。
- 第二号議案(役員改選) 鳥澤県議が相談役に、村山会員が事務局次長兼富岡地区委員にそれぞれ就任され小幅な役員改選となった。
- 第三号議案(令和元年度事業・予算案)
  - 五月十八日(土) ミドリ祭り支援
  - 五月十九日(日) 裾野支部研修会
  - 七月二十一日(日) オリジナル自転車支援
  - 八月三日(土) 夏祭り支援
  - 九月一日(日) 静岡県防災訓練へ参加
  - 九月七日(土) 阿波踊り支援
  - 九月二十一日(土) バターゴルフ大会・懇親会
  - 十月五日(土) 若獅子神社清掃奉仕
  - 十月十九日(土) フェスタ裾野支援
  - 十一月(未定)(土) ボーリング大会・新年会

総会及び懇親会参加者(順不同)

- 足達、井上、江波戸、大串、大竹、勝又、内藤、勝間田、塩川、芹沢、関沼、渡邊君、津原、福士、藤本、藤森、本田、村松、村山、村井、山下、明和、須田、遠藤各会員
- ※ 次回も、多くの会員の出席をお願いします。

懇親会では、支部長が今年度の抱負として引き続き会員ボランティアへの参加、特に、オリジナル自転車ロードレースのテストイベントが七月に開催されることから協力の依頼、また、九月の静岡県防災訓練への参加などについての説明があった。この後、大串顧問による乾杯の発声により開宴し久しぶりの話題に花が咲き楽しいひと時を過ごしました。最後は今回から藤本事務局次長から交代した村山会員により今後の会員の健勝を祈念し一本締め行い閉会となりました。



(総会の後の懇親会における記念写真)

## 裾野市入隊予定者激励会

平成三十一年度の自衛隊入隊予定者に対する激励会が三月十一日に裾野市長応接室で実施されました。激励会では高村市長、市教育長、裾野自衛隊協力会長、静岡地方協力本部長のほか、防衛大臣のビデオレターなどにより入隊予定者を激励したほか隊友会からは支部長と募集相談員である藤本会員が出席して入隊時の心構えや職種選択における考慮事項、同期の絆などの助言を与えて激励するとともに隊友会からの記念品を贈呈しました。記念品は、入隊してすぐに必要な裁縫セットと迷彩のタオルを支部長が直接入隊予定者に手渡しました。最後に入隊予定者がそれぞれの思いや決意を語りお礼の言葉を述べました。



機甲教導連隊長兼ねて駒門駐屯地司令 内田明秀 1等陸佐

## 各駐屯地で記念行事開催

駐屯地創立記念行事が今年も駒門駐屯地(四月七日)、滝ヶ原駐屯地、(四月十四日)でそれぞれ開催されました。今年も駒門・滝ヶ原いずれの駐屯地も桜満開の下で行事が執り行われました。特に駒門駐屯地では新たに編成された機甲教導連隊長兼ねて駒門駐屯地司令が観閲官となり一〇式戦車などの機甲部隊の重車両が堂々の行進を披露しました。今回の改編事業のこともあり、この日駐屯地を訪れたバスツアーなどの観客で会場は一杯でした。会員は、各駐屯地のOBとして行事に出席するとともに現役隊員の激励や現役当時の上司、同僚らとの久しぶりの再会を楽しんでいました。



### 駒門駐屯地司令の主要略歴

- 昭和40年12月30日生
- 出身 群馬県
- 昭和59年 入隊(曹候)
- 第12戦車大隊
- 平成9年 幹部候補生学校
- 平成12年 第71戦車連隊
- 平成14年 指揮幕僚課程
- 平成16年 体育学校
- 平成18年 陸幕防衛課、大臣官房改革推進室
- 平成23年 第7偵察隊長
- 平成27年 機甲科部訓練班長
- 平成29年 戦車教導隊長
- 趣味 : 釣り・ゴルフ

新編部隊の駒門駐屯地移駐を出迎え



(横断幕と幟旗を持って出迎える会員)

陸上自衛隊では三月、南西地域における体制強化サイバーセキュリティの強化、作戦基本本部隊の改編、教育訓練体制の充実を図るため新改編事業が行われた。これにより三月二十五日、第一機甲教育隊を廃止し、富士学校隷下の戦車教導隊及び偵察教導隊が統合され戦車教導連隊として新編された。駒門駐屯地に移駐した。隊友会ではこの新編部隊の移駐を歓迎し出迎えるため、裾野市自衛隊協力会(会長志村宏之様)と共に駐屯地西門付近において横断幕を掲げて出迎えた。この横断幕は裾野自衛隊協力会と共同で作成し、江波戸副支部長に揮毫していただいた。すべての移駐部隊が入門後、新たに駒門駐屯地司令となった内田明秀一等陸佐が出迎え参加者に対して謝辞の挨拶をされた。隊友会裾野支部では新編部隊が必要とする応援旗を寄付する計画で部隊と調整している。出迎えに参加された会員は以下のとおりです。

明和支部長、江波戸副支部長、関沼、小山、藤本、大竹、山下会員、お疲れ様でした。

第一機甲教育隊発展的改編



(第1機甲教育隊隊旗返還の様子)

第一機甲教育隊は陸上自衛隊の改編事業により三月二十五日に廃止された。これに先立ち三月十六日、発展的改編行事が行われ、戦車の「脱魂式」、記念碑除幕、隊旗返還式、謝恩会にOBなどが参加した。第一機甲教育隊は昭和三十七年に創設され五十六年間にわたり六万三千人余りの隊員を教育した全国の部隊に送り出した。この日の行事参加のため北海道から九州までの多くのOBやOB会である「亀の会」からも多くの会員が参加し名残を惜しんだ。

家族支援の顔合わせ訓練実施

駒門駐屯地業務隊では駐屯地創立五十九周年記念行事にあわせて自衛隊員の家族支援に関連して隊員家族との顔合わせを駐屯地図書室で実施された。顔合わせに参加したのは駒門駐屯地業務隊厚生課長、同厚生班長、明和支部長、深良地区副担当の法花津会員と駒門業務隊に勤務する隊員の二家族で、自宅の場所確認や地域の情報などを話し合い和やかな雰囲気の中で初めての顔合わせ訓練が実施された。

今後この顔合わせ訓練が隊員家族の了解を得て行われる予定であり、五月二十一日には桃園地区で自宅確認の訓練も実施された。有事の際や災害発生にあたり後顧の憂いなく隊員が任務に邁進していただけるよう隊友会は密接な支援をしていきたい。裾野地区における家族支援担当会員は左記のとおりです。

須山地区	正	勝又 晃	副	藤坂朝雄
富岡地区	正	藤本泰治	副	村山 智
深良地区	正	芹沢 元	副	法花津直之
西地区西	正	西田文明	副	大竹柳二郎
西地区南	正	山下 寛	副	渡邊公雄
東地区	正	足達信之	副	福士恒夫



(OB会から寄贈された戦車砲の徹甲弾が貫通した鋼板の上に隊風を掲げた記念碑が除幕された)



(家族支援における初顔合わせの様子)

訃報

渡邊保会員(八十六歳)は三月二日に、田村邦男会員(九十一歳)は四月十三日にそれぞれ逝去されました。生前の隊友会への貢献に対し感謝申し上げます。なお、渡邊会員の奥様とく江様から裾野支部に寄付金をいただきました。寄付金については、駒門駐屯地に新編された機甲教導連隊の応援旗作成費に充てさせていただきます。

**危険業務従事者叙勲**

春の危険業務従事者の叙勲が発表され、裾野支部から二名の会員が瑞宝単光章を授章されました。

桃園 大竹 柳次郎 会員  
深良 法花津直之 会員  
おめでとうございます

新入会員の紹介

**近藤 勝美**

出身 茨城県  
入隊 武山駐屯地  
主要部隊歴  
第一戦車群  
第一機甲教育隊  
趣味 魚釣り  
住所 裾野市茶畑六一一  
エコロガーデン二〇二  
電話 〇四六〇一八八四八五一九

**石川 幸一**

出身 浜松市出身  
入隊 板妻駐屯地  
主要部隊歴  
第三十四普通科連隊  
趣味 野球観戦、アウトドア  
住所 裾野市今里五二七  
電話 九九七二二五五〇